



慶應言語学 コロキアム

慶應義塾大学言語文化研究所
The Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies

Current Issues in Minimalism: GK, MC and beyond?

講師：杉本 侑嗣（大阪大学）

コメンテーター：大石 正幸（東北学院大学）、豊島 孝之（東北学院大学）

司会・コメンテーター：内堀 朝子（東京大学）、北原 久嗣（慶應義塾大学）

日時：2025 年 5 月 10 日（土）～11 日（日）13:30-18:30

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館大会議室

※対面開催のみ（オンライン配信の予定はありません）

使用言語：日本語

参加申込： 研究所ホームページもしくは右のQRコードよりお申込み下さい



- * 今回のセミナーは生成文法研究の専門的知識が前提となります。
- * 準備の都合により、事前申込をお願いいたします。
- * 事前にお申込みいただかない方の当日参加も可能ですが、会場にて参加者カードへの記入が必要となります。

極小主義における発展により普遍文法の内実が非常に単純化され、強い極小主義のテーゼのもと、現在もミニマリスト・プログラムが押し進められている。特に近年の研究では、併合の概念も含め様々な理論内部の概念が精査され、今まで前提としてきた分析方法の一部が破棄され、より単純な説明方法が模索されている。これらのことを踏まえ、本セミナーでは、いまどのような仮説が提出されており、その根拠はどういうものなか、議論する場を提供することを目的とする。

本セミナーでは、以下の文献を踏まえたうえで議論を進めます。

- ・Chomsky, Noam. Minimalism: Where Are We Now, and Where Can We Hope to Go. *Gengo Kenkyu* 160: 1-41, 2021.
- ・Chomsky, Noam, T. Daniel Seely, Robert C. Berwick, Sandiway Fong, M. A. C. Huybregts, Hisatsugu Kitahara, Andrew McInerney, and Yushi Sugimoto. *Merge and the Strong Minimalist Thesis. Elements in Generative Syntax*. Cambridge: Cambridge University Press, 2023.
- ・Chomsky, Noam. The Miracle Creed and SMT. In Matteo Greco and Davide Mocchi eds., *A Cartesian dream: A geometrical account of syntax: In honor of Andrea Moro*, pp.17-39. Lingbuzz Press, 2024.

スケジュール（予定）

Day 1 Introduction
Lecture1: Background
Lecture2: GK framework
Discussion

Day 2 Introduction
Lecture 3: MC framework
Lecture 4: Beyond MC
Discussion

主催 慶應義塾大学言語文化研究所

[お問い合わせ先]

〒108-8345 港区三田2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所
電話：03-5427-1595（事務室直通） メール：genbu@icl.keio.ac.jp
<http://www.icl.keio.ac.jp>